

◆2019年 中学入試算数 講評【麻布】

麻布は例年、工夫して解けば計算の負担がそこまで大きくないような、思考力を問う良い問題が揃っています。今年も、本質的な理解を問う良問が例年通り出題されました。例年よりも少しだけ計算処理が複雑な分だけ、やや難化といったところでしょうか。また、麻布は、算数数学の美しさを背景とした、大変高度な抽象化が求められる問題の出題が最近顕著に見られていますが、今年も出題されました。大問5がそれに当たります。

以下、各問題の講評です。

大問1、2

素直な出題でした。

大問3 立体図形 切断 相似

素直な設定で、時間をかければほとんどの受験生が答え自体には辿りつけるでしょう。ただ答えを出すだけでなく、より簡易な方法はないかと、試行錯誤してきた受験生に有利に働く問題です。

大問4 規則性 周期性

9個ずつ塊に分けると、
 $21 \times 9 = 189$
ずつ差が出る性質を発見し、
それをものすごく大きな数字に応用させる、
筑駒が毎年必ず出題するタイプの問題です。

大問5 規則性

(3) ままで試行錯誤の末たどりついた事実を、
(4) に応用させる、
麻布の大好きな出題パターンです。
また、最近必ず出題されている、
算数数学の美しさを背景とした問題も、
この問題です。

(3) は、 $7 \times 4 \times 3$
(4) は、 $99 \times 50 \times 49$
で求まってしまうのです。